

第3回 日の里学園 学園運営協議会・議事録・9.30

令和4年9月30日(金) 日の里中学校 図書室 18:30~19:30

開会の挨拶・黒川会長より ・日の里祭りに7千人の参加、CSとしては南阿蘇への研修と、市の総合防災訓練、14日には8年生が作成した椅子の贈呈式、地域と協働した行事が進んでいる。本日の内容は学校関係者評価についての熟議である。

1 日程説明・前回の確認

日程説明【事務局：北岡 Co】前回の議事録の確認【事務局：大庭主幹】

2 議事

①学校評価について【事務局：大庭主幹】学校評価アンケートの内容と、評価方法についての説明

②学力及び生徒指導の状況について（栗原校長）県学力テスト、全国学習・学力状況調査の結果報告、

（3校の校長から）長期欠席の児童生徒数の報告

吉田委員（質問）：学力テストの調査方法について、小学校から継続の長期欠席の生徒について

③熟議「前期学校関係者評価の妥当性と今後に向けて」

（黒川会長）コミュニケーション・社会力について、児童生徒はお互い教え合って、励まし合っている姿がしっかり見えている。一方で、教師の数値が低い原因を考える必要がある。一番大切なのは、子どもと教師の関係と、教師の思いが子どもに伝わること。教師の思いがあれば、子どもは育つと思う。

（木村委員）自尊感情のところが気になる、コロナが収まって、さらに子どもと地域との関わりができれば、数値も上がってくる。最近、授業で関わった子に地域で何度も声をかけられた。これが日の里の様々な所で起こって欲しい。

（賀来委員）自尊感情については、自分のことなので、教師や家庭が低くても、子どもが一番高くなっているならいいのではないかと考える。今後、教師や家庭も高くなっていくと考える。

（高木委員）アンケートの結果では、教師の「短所を受け入れている」の部分がまだ改善の余地があると考えている。子どもの自尊感情の数値が高くなった理由として、学校としての取組は係活動、教科の学習、総合など、日常のささやかな活動でも、子どもが関わり合い、教師もプラスの声掛けができていくことが関係していると思う。

（正路委員）コロナ前からの日の里カリキュラムの積み上げで、自尊感情も高まっている。

（森副会長）学ぶ意欲については、学校での子どもや教師は9割以上、家庭学習は低く6割なのでずれている。家庭での学習について、考える必要がある。「自分から進んで」という態度面を高めるために、学校ができる支援を考える必要がある。例えば、算数の予習などに取り組むように仕向け、親は声掛けをしてもらう。関係者評価は生かすためにあるので、数値を上げるためには、家庭学習を進んで行う態度になるように、今後取組を行ってほしい。目標値を前年からプラスで出すのは、集団が違うので根拠が薄い。年度初めからの目標値はなくし、前期と後期を比較するのがいいのではないかと考える。思考・判断の評価は、家庭はなくしてもいい。来年向上心には家庭を加えてもいい。家庭でも目標をもって過ごしている。子どもがどんどんチャレンジする姿が見えてくる。保護者への質問は「家庭での学習の場面」でのことなので、分かりやすいように文言にも入れたらいい。関係者評価を材料にして、マイナスをプラスではなく、プラスをもっとプラスになるように、保護者に子どものよさを知らせていけたらいい。PTAの活動で提案されてはいいか。

（吉田委員）親は「勉強しなさい」と言ってやらせるので、どうしても親の目から見ると、期待度が高い分、数値は低くなる。実際の状態とは乖離するのではないかと考える。同じ集団での7月と12月の比較で、それを子どもも大人も意識してできればいいのではないかと考える。保護者がマルつけ隊に参加すると、自分の子や周りの子の学習の向き合い方や意欲が分かる。担任の先生から連絡帳で褒めてあげる等の機会も作って欲しい。思考力・判断力は専門的な用語になるので、家庭と教師と言葉遣いを変えてもいい。

（青谷委員）学ぶ意欲に関して、保護者の意識が高いので、数値が低いのは仕方ないが、子どもと教師の数値は高いので、PTA役員として、保護者に対して「子どもたち頑張っているよ」と声掛けをしていきたい。一日中、子どもはフル稼働しているので、家ではのんびりしたいのではないかと考える。子どもを認めてあげる声掛けをしたい。

（藤原委員）思考力・判断力の「視点や方法」とは具体的にどのようなことか。

（山辺委員）自尊感情、「長所と短所を受け入れている」ではなく「長所と短所を知っているか」でもいいのでは。

（事務局：北岡Co）思考力と自尊感情の文言は、12月は変えられないので、来年度に向けて検討する。

（栗原委員）日の里中校区の学力面での課題、家庭での復習の課題については、学校で取組を進めていきたい。

3 閉会の挨拶（森副会長）学校での子どもの姿を保護者に伝える等、具体的な手立てが出てきた。日の里カリキュラムにも取り組んでいるので、郷土愛の数値をさらに上げていけるとよい。学校関係者評価は次に生かすためのもの。